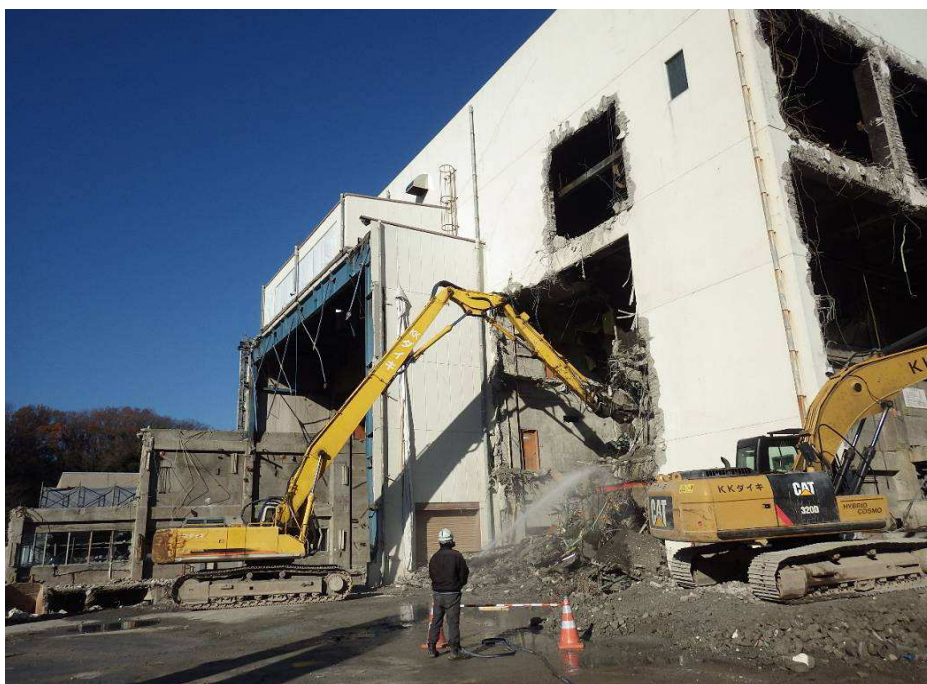


八王子市館清掃工場解体工事の進捗状況について 平成28年 12月

工場棟の建物解体作業をおこなっています

工場棟については、先月から引き続き建物の解体作業をおこなっています。工場棟は、最高部で23mの高さがある建物で、鉄筋コンクリート造と鉄骨造の複合構造になっています。まずは南側（写真手前側）にあたる鉄骨造の部分を解体し、次に北側（写真奥側）の白い鉄筋コンクリート造部分の解体を進めています。低騒音・低振動型の大型重機を使用し、粉塵対策として十分に散水をしながら解体しています。



煙突の外筒解体作業をおこなっています

煙突については、先月から引き続き外筒解体の作業をおこなっています。解体作業が進み、12/13にはワークステーションが15.2mの位置まで下がりました。所定の高さに到達しましたので、この時点で特殊解体機を地上に下ろして搬出し、ワークステーションと作業用クレーンについても分解撤去して搬出しました。



特殊解体機やワークステーションなどは、地上から移動式クレーンを使用して分解撤去しました。



煙突外筒の残り15mの部分については、今後工場棟の建物と同様に、地上から大型重機を使用して解体します。

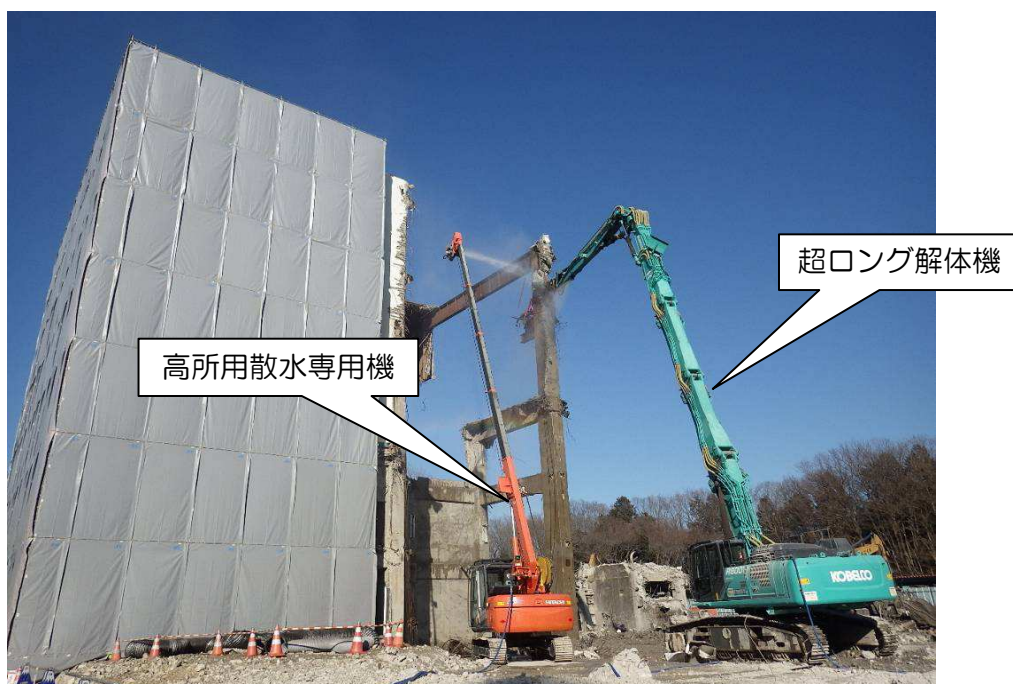


八王子市館清掃工場解体工事の進捗状況について 平成29年 1月

工場棟の建物解体作業をおこなっています

工場棟については、先月から引き続き建物の解体作業をおこなっています。地上部分の解体箇所は、写真中央左にある鉄筋コンクリート造の部分を残すのみとなりました。

通常の解体用重機では建物屋上付近の解体が不可能であるため、最大作業高さが27.5mの超ロング解体機を使用して解体しています。また、高所解体時の粉塵飛散をできるだけおさえるために、高所用の散水専用機を解体作業箇所の近くに配置し、十分に散水しながら解体しています。



煙突の外筒解体作業が完了しました

煙突については、外筒地上部の残り15mの部分解体し、地上部分の解体が完了しました。煙突脇の地面には、解体工事前の調査により鉛及びふっ素について土壤環境基準を超える区画が確認されており、土壤汚染対策法による形質変更時要届出区域に指定されています。そこで煙突地下部分の基礎コンクリートを解体する前に、法に基づく所定の届出手続を実施し、対象土壤汚染区画の土砂を掘削して除去する工事を行っていきます。

